

日本組織培養学会

昭和52年3月15日発行

会 員 通 信

第 31 号

発行責任者

☆佐藤温重・梅田誠

☆☆加納永一

☆横浜市南区浦舟町 横浜市大・医学部

☆☆京都市東山区山科御陵 京都薬大

§ 第43回研究会開催について

研究会開催案内第二報として、一般、およびシンポジウム講演、参加申込みの要領が、別項（色頁）に掲載されている。

§ 昭和52・53年度幹事選挙結果について

3月8日難波、加納両幹事が川崎医科大学にて開票を行い、次のように新幹事が決定しました。
尚投票総数は102票でした。

東 部

当選	三井洋司	（東京都老人研）	21票
”	許南	（東大医科研）	17票
次点	角屋堯英	（独協医大）	12票

西 部

当選	藤原美定	（神戸大・医）	27票
”	常盤孝義	（岡山大・医）	14票
次点	石本秋雄	（愛知がんセンター）	11票
”	鈴木文男	（金沢大・薬）	11票
”	豊島桂次	（国立奈良病院）	11票

この結果、昭和52年度幹事は、後藤正義（東北大・薬）、湊清（国立遺伝研）、加納永一（京薬大）、江村牧人（愛知がんセンター）の各氏と四人の新幹事ということになりました。

§ 第44回研究会開催について

勝田 甫世話人のもとで行われるが、世話人から次のような通知があつた。

1977年9月26日（月）～27日（火）の2日間 東大医科研講堂において開催する予定です。

第1日（26日）は一般演題。応募についてはいずれお知らせします。

第2日（27日）は国際シンポジウムとします。日本からは勝田 甫、安村美博、山根 績の3人が演者となります。外国からは下記の5人を予定しています。つきましては、折角日本へ御招待するので、各地でセミナーをおねがいしたら良いと思います。御希望の方は直接本人に御申込み下さい。（コピーを勝田に送って下さい） その際国内の旅費と宿泊費は負担して下さい。

"Nutritional Requirement of Mammalian Cells in Tissue Culture"

September 27, 1977(Tuesday)

1) Dr. Harry Eagle

Albert Einstein College of Medicine of Yeshiva University.
1300 Morris Park Avenue, Bronx, N.Y. 10461 U.S.A.

2) Dr. Virginia J. Evans

Biomedical Research Institute, 1211 Parklawn Drive
Rockville, Maryland 20852 U.S.A.

3) Dr. Katherine K. Sanford

Cell Physiology & Oncogenesis Section Laboratory of
Biochemistry, National Cancer Institute, Bethesda,
Maryland 20014 U.S.A.

4) Dr. Richard G. Ham

Department of Molecular, Cellular and Developmental
Biology, University of Colorado, Boulder, Colorado
80309 U.S.A.

5) Dr. Kamal J. Ranadive

Cancer Research Institute, Tata Memorial Centre, Parel,
Bombay 40012 India

§ 電話番号変更

会員名簿 6頁 上から5人目

須藤 鎮世 電話 (0467) 43-2711

§ 学会事務センターからのお知らせ

昭和52年3月

会 員 各 位

日本学会事務センター
組 織 培 養 学 会 係

請 求 書 発 行 日 付 訂 正 と お 詫 び

拝啓 時下益々御清栄のこととおよこび申し上げます。

過日、当センターより発行いたしました日本組織培養学会昭和52年度第1回目の請求書の発行日にあやまりがありましたので、訂正してお詫び申し上げます。

発行日が、51-1-19 となっておりますのは、52-1-19 の誤りです。

有効期間が3ヶ月となっておりますが、以上のような事情ですので、この振込用紙は52年4月まで有効となります。

以上重ねてお詫び申し上げますとともに、会費納入方よろしくお願いいたします。

なお、この通知、既に会費御納入済の方に届きました場合はご容赦下さい。

敬 具

§ 編 集 後 記

昭和52年度春号をおとどけする。第43回 研究会シンポジウムは「組織培養の医学の貢献」の主題で開催されるが、たしか第22回研究会で「病態生理研究における組織培養」というシンポジウムが持たれたことがあったように思う。十年間の進歩がどんなものであったか、期待される。ところで、ヒト胎児腎が軍事研究の目的で空輸されている云々の朝日新聞の記事には驚くばかりである。倫理規定を守ることは当然としても、今度のシンポジウム主題にみるような医学の貢献のためという面が無視されている。バランス思考の出来ない朝日新聞をかなしむ。(S)。

日本組織培養学会第 43 回研究会開催案内

第 43 回研究会を下記により開催することになりましたので御案内申し上げます。

1. 会 場 : 川崎医科大学 8 階大講堂
701-01 倉敷市松島 577 TEL 0864-62-1111
2. 日 程 : 5 月 19 日 (木)
5 月 20 日 (金)
3. シンポジウム : 「組織培養の医学への貢献」
※主旨については通信第 30 号に予報としてお知らせいたしておりますので参照して下さい。
4. 講演申込み締切 : 同封の講演申込み票に記入のうえ、3 月 31 日までに送付して下さい。
5. 抄録原稿締切 : 講演申込みの方には抄録用原稿をお送りしますので、4 月 15 日までに当方に必着するようご返送下さい。
6. 講演時間 : 講演、質疑応答を含めて、1 人 30 分を予定しています。
7. 参加費 : 2000 円
8. 講演申込み先および連絡先 :

〒701-01 倉敷市松島 577

川崎医科大学病理学教室 木本哲夫

TEL 0864-62-1111 # 5086・3519

日本組織培養学会第 43 回研究会講演申し込み票

一般講演・シンポジウム (講演御希望の方に○印をつけて下さい)

演 題 :

(ふりがな)

発表者氏名 : (演者に○印をつけて下さい)

抄録用原稿用紙送付希望住所および氏名 :

プロジェクター : (いずれかに○印をつけて下さい)

1 台使用

2 台使用

16 mm 映写機 :

要

不要

その他の希望事項 :